

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.573

2022年4月27日

東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

~~Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION~~

経営懇談会を開催

令和3年度期末決算について議論

~~japan railway tokei workers union / japan railway tokei workers union~~

4月27日、「令和3年度期末決算」について経営懇談会を行い、会社と議論を展開した。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出及び移動の自粛等の影響により、当社・グループ会社ともに引き続き極めて厳しい経営環境が続く中、連結営業収益は前年と比べ増加したものの、依然として低水準となった。引き続きグループ会社も含め、費用削減を強力に推進したこともあり、営業利益を確保したものの、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益については損失を計上し、2期連続の赤字決算となった。

経営懇談会においては、今次業績に関する会社の見解を詳細に確認するとともに、令和4年度の事業運営の見通し等についても広範な議論を展開した。

会社からは、安全・安定輸送の確保を最優先に輸送機関としての使命を果たしつつ、コロナの影響による厳しい経営状況から脱却すべく、種々の取り組みによる収益の拡大と、「業務改革」の強力な推進により、経営体力の再強化を図ることが示されたほか、次期業績予想については、コロナ対策が進む中で社会経済活動が活性化され、ご利用が回復していくことを想定し、経常損益と親会社株主に帰属する当期純損益について、3期ぶりの黒字を見込んでいることが明らかとなった。

JR東海ユニオンは『将来宣言』に基づいた労使関係をより強固にし、引き続き忌憚のない意見交換を重ね、労使でこの難局を乗り越えていくことを確認した。

□令和3年度期末連結決算の概要

科 目	実 績	前年度との差異	増減率
営 業 収 益	9, 3 5 1 億円	+ 1, 1 1 6 億円	+ 1 3. 6 %
営 業 損 益	1 7 億円	+ 1, 8 6 4 億円	—
経 常 損 益	▲ 6 7 2 億円	+ 1, 9 4 7 億円	—
親会社株主に帰属 する当期純損益	▲ 5 1 9 億円	+ 1, 4 9 6 億円	—

※確認内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。